

備前市事務事業評価表

事務事業名	地域公民館運営事業（吉永）		コード	03-02-04-10
			担当課・係	吉永地域公民館
			担当者	小原龍子
事業実施期間			電話	84-3839
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり		
	小項目(施策)	指導者の育成・文化活動の推進		

事業について	
目的 (何のために)	生涯学習の提供の機会として、幅広い世代を対象とした各種講座等を開催し、住民の教養及び情操教育の向上に努め、その知識を活用し新たな自主活動グループを開設する指導者の養成を目指す。
対象 (誰・何を対象に)	市内在住者及び市内事業所に勤務する人
内容	各種主催講座（高齢者学級・婦人学級・健康体操・親子であそぼう・わらべうたであそぼう等12講座）、文化祭の開催及び生涯学習団体の育成

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
主催講座参加者	1,653 人	1,599 人	
文化祭参加者	772 人	1,362 人	
幼少年対象講座回数	35 回	30 回	
幼少年参加者数	323 人	293 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,599	国庫補助金等		直接事業費	2,755	国庫補助金等	
	人件費	5,715	受益者負担	560	人件費	7,178	受益者負担	1,120
	合計	9,314	市債		合計	9,933	市債	
		一般財源等	8,754			一般財源等	8,813	
								0

必要人員	125 人	153 人	
結果指標名	主催講座参加者数		
結果指標量	1,653	1,599	
単位	人	人	
対前年比	-	96.73%	0.00%
活動にかかるコスト	9,182,000 円	9,933,000 円	
単位当たりコスト	5,555 円	6,212 円	
結果指標名	文化祭参加者数		
結果指標量	772	1,362	
単位	人	人	
対前年比	-	176.42%	0.00%
活動にかかるコスト	132,000 円	65,000 円	
単位当たりコスト	171 円	48 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	生涯学習の場を提供し、講座生増加、講座指導者育成		
成果指標名	主催講座参加者数	式又は説明	吉永地域公民館での主催講座における参加者数
	17年度	18年度	
成果指標量	1,653	1,599	
対前年比	-	96.73%	0.00%
到達目標値	1,800	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等： 社会教育法20条、備前市立公民館設置条例	妥当性評価<A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	子どもから高齢者までを対象とした主催事業を開催しているが、他の活動なども重複し、子ども・成人男性の参加状況が低迷している。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C	
有効性の評価	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	民間ボランティア等を講師として活用するなど、経費の節減を図る必要がある。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
市民参画度	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市民のニーズのあった特色ある講座を企画し、より多くの方に参加してもらい、以って、指導者の育成を図る。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	新規講座を開設し、生涯学習のための次由活動グループの養成を目指している。
目標値	結果指標量	1,800人	結果指標量	

総合評価	主催講座について、参加者のニーズが反映するようアンケート等を行い、併せて、子ども向け講座の必要性等対象者を精査し、参加者の増加を図る。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	ニーズに合った講座の開設	平成19年度	参加者数の増加